

続・ゲーテンベルクのロックンロール

拡散する音楽と文化 猿の骨からモノリスへと進化を続ける音楽

講座内容

秋の講座「ゲーテンベルクのロックンロール」の続編。ビートルズ以降の音楽の進化と多様性(拡散)を、社会背景やテクノロジーの影響とともに学ぶ講座です。ブルース、ジャズ、ゴスペルなどの黒人音楽を基盤に、ビートルズは新しい音楽の形を作り出し、それまでの形式を超えて音楽ジャンルを広げ、多様化させました。技術の進化により、新しい楽器や録音技術が登場し、音楽の制作方法や表現の幅を拡大。また、メディアの普及が音楽市場を大きく拡張し、多くの音楽家が登場しました。この講座では、時代ごとの代表曲を実際に聴きながら、音楽の進化を体感。ビートルズ以降の音楽が現代に至るまでどのように広がり、文化と結びついたのかを探ります。

期間	5月17日～6月28日	受講料	10,000円
曜日	土曜日	定員	30名
時間	13:00～14:30 (※6/28のみ15:00まで)	会場	横浜・関内キャンパス
回数	全4回	持ち物	筆記用具
教材	資料として年表、プレイリストなどを配布します。		

講座スケジュール

回数	日程	内容
1	5月17日(土)	ビートルズ以降の音楽 マイルスデイビスの音楽 エレキピアノ ハモンドオルガン エフェクター 録音技術の革新 ロックの芸術性 電気楽器の登場 サージェント・ペッパー 電気マイルスの影響について曲を聴いて比べます
2	5月31日(土)	70年代 Love&Piece メッセージソングからラブソングへ ハードロックからA.O.Rへ拡散したロック A.O.Rなどを聴きながら、ベトナム戦争が終結してメッセージの強い音楽から優しいサウンドへの変化確認します。TOTOのような新しいサウンドも追求します。
3	6月14日(土)	テクノロジーと音楽 テクノの登場 ディスコからダンス音楽へ シンセベースの始まり 電気楽器をつかった音楽の登場によって始まった新しい音楽について、今では当たり前の音の原点を聞きながら検証します。
4	6月28日(土)	80's MTVの登場 アナログからデジタルへ ウォークマン登場 未来の音楽の方向について MTV、CDによって音楽を聴く場所が広がり、ヒット曲が量産されました。音楽が他のメディアを巻き込んで進化する姿を検証します。最近見直されている80'sサウンドの秘密につて。ゲーテンベルクから始まった多くの技術が集約され音楽にも影響を与え、新しい時代へと変化している状況を考察します。

講師紹介



有馬 知章(ありま ともあき)

音楽プロデューサー

本学工学部電気工学科卒業。在学中より、YMOの松武秀樹氏アシスタントを務め、シンセサイザープログラマーとして数多くのレコーディングに参加。筒美京平氏の作曲アシスタント。中国のスター郭峰をプロデュース。マルチメディア・サウンドプロデューサーとして、ピーター・ゲイブリエルのCD-ROM "eve" 日本語版をプロデュース。服部克久音楽畑オーケストラの一員(コンピュータ)として、CD録音、CM音楽、コンサートに参加。スタンフォード大学CCRMAサマーセッションにてコンピュータミュージックを習得。音楽専門学校にて音楽史、DTM、音響学、メディア論の授業を18年間担当。現在楽譜作成ソフトDoricoの集中講座を主催。AI作曲活動中。